

特集

F Dの制度化に向けた各設置校の取組み

January
Vol.31

楽人

Gaku
jin

<http://www.tanigaku.ac.jp/>

contents



卷頭 理事長年頭挨拶

学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

FDの制度化に向けた各設置校の取組み

特集

大阪商業大学
神戸芸術工科大学
大阪女子短期大学

大阪商業大学

トピックス

認証評価について

人事異動について(内示)

ニースファイル

大商大

大学院経営革新専攻開設記念シンポジウム開催

第7回特別展示「富くじ・宝くじ・当て物展」が開催されています

第6回大商大ビジネスアイディア甲子園2007

校友顕彰式典が開催される

神戸芸工大

鏡リュウジ氏を招き特別公開講義が開催されました

「秋の叙勲」村上昭年神戸芸工大名誉教授が瑞宝中綬章受章

友定聖雄准教授が日展で特選受賞

学生考案のメニューを学食にて販売!!

授業での取組みを外部に発信

大阪女子短大高
大阪女子短大高
大阪女子短大高
大阪女子短大高
大商大附属幼稚園

アテネ五輪金メダリストが大阪女子短大高の総合的な学習「自己発見」に来校

韓国の大学生が視察に訪れました

クオリティ・オブ・ライフも大きく変わる保険制度と健診

各設置校の主な予定

編集後記

11

10

9

8

8

7

6

5

3

2

平成20年の新春を迎え、理事長年頭挨拶・賀詞交歓会及び新年五��会が学園各キャンパスで行われました。
藤井寺キャンパスと東大阪キャンパスでは1月5日(土)に、神戸キャンパスでは1月8日(火)に開催され、
谷岡理事長による年頭挨拶が行われました。
今号の楽人では東大阪キャンパスでの理事長の年頭挨拶(要約)を紹介いたします。

皆さま明けまして おめでとうございます。

学校法人 谷岡学園 理事長

谷岡 一郎

ね

ずみ年は十二支においてはスタートの年であり、12年という区切りをもつて、また新たにスタートする節目の年であります。本来ですと、昨年は谷岡太郎総長が逝去され、個人的には喪中ではありますが、この学園について皆さんと新たに考えていく節目となるこの新年において、やはり皆さんにはおめでとうと「言言わせていただきたいと思います。

皆さんの中にも、ご不幸などあつた方がいらっしゃるかもしれません。しかし、新たな気持ちでこれから前進していくんだという気持ちは皆さん変わらないと思います。私もこれから皆さんのお力を借りて、この学園を一層盛り上げていきたいと考えております。さて今まで、皆さんの中ではあまりしたことがない話をさせていただきます。13年前の亥年、地震のあった年です。この地震で当時の学園理事であつた平岡源三先生ご夫妻が残念ながらお亡くなりになられました。先生が亡くなられる数日前、ちょうどこのようない席でお話させていただいた時、しみじみと先生がこうおっしゃいました。「この学園を是非とも、山椒のようないい、小粒でもいい、びりりと辛い学園にしたいのですな」と。

私が平岡先生から聞いた最後の言葉となりました

が、私の気持ちはそれ以来変わつておりません。私はこの学園を大きくするつもりはありません。しかし教育内容はどこにも負けない、一番多くの付加価値を付けた学校、ここで学んだ学生・生徒たちが社会に出でからも、番良かつたと思える学校であり、そして胸を張つて言える学園にしたいと思っています。

そして何よりも、偏差値が一番高い学校を目指すのではなく、ここで学び、働く者が仲の良い学園にしたいと考えております。

そのためにはムードメーカーとなる人が必要ですが、本学園では素質を持った人が多く、そういう人たちが、苦しく、しんどいと思うような時でも、楽しんで取り組んでいたくなるなど、率先してリーダーシップを発揮していただいています。

子年の今年においては、ねずみの持つ生存能力の高さ、パワー、賢さなど、そういったものを發揮できるような年にしていただきたいと思います。

この一年が皆さんにとって、幸せで、有意義で、チャレンジする、そして新たな友達を作る年でありますよう、心より念願し理事長としての年頭の挨拶とさせさせていただきます。

(1月5日 東大阪キャンパス理事長年頭挨拶から)



FDの制度化に向けた各設置校の取組み

FD(ファカルティ・デベロップメント)といふことばは、平成3年に大学設置基準が大綱化されたころから、セメスター、サバティカル、リメディアル、シラバスなどといった用語とともに一般的に使われるようになりましたと思われます。

この大学設置基準の大綱化は、各大学における自主的な改革の取組みを促すことを通じて、教養教育の改善を図ろうとするものでした。授業科目の区分やそれに応じた卒業要件単位数などの取扱いが弾力化され、これらについては各大学の自主性にゆだねられる」となりました。多くの大学において、「くさび型」※のカリキュラム編成等教養教育と専門教育の質教育の実施特色ある授業科目の導入、選択幅の拡大などのカリキュラム改革が進みました。また、セメスター制の導入や学生による授業評価等を通じた指導方法の改善等に取り組む大学が増加しました。

さらに、平成11年の大学設置基準の改正においては、各大学の自己点検・評価が義務づけられるとともに、履修科目登録単位数の上限(CAP制)の設定、教育内容等の改善のための教員の組織的研修等(FD)の努力義務化となりました。

そして、平成19年の大学設置基準の改正において、平成20年4月よりこれまで努力義務となっていた前述のFDが義務化されることとなりました。トピックスでも触れますかが、平成16年度から始まつた認証評価制度においてもこのFD活動の評価が重要となると思われます。つまりFDの取組みによって、教員の教育力がどれだけ向上したか、学生の学習量や質がどのくらい向上したかを明示し、評価しなければなりません。

今回の楽人ではこのFDに焦点を当て、各大学において教育の質的向上を図るために行っている様々な取組みをFDへの取組みとして紹介いたします。

※「くさび型教育課程」
当時国公立大学を中心多くの大手では1・2年次が「一般教育科目」を履修したうえで、3・4年次の「専門科目」を履修するものが一般的でしたが、「一般教育科目・専門科目とも4年間を通していつからでも学べるようにした「くさび型」(既に大商大や神戸芸工大では大学設置基準の要件に合わせ「くさび型教育」を導入していました)のカリキュラムが導入されました。



用語解説

【大学設置基準】

大学設置基準は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第3条、第8条、第63条及び第88条の規定に基づき、大学を設置するのに必要な最低の基準を定めた文部省(現在の文部科学省)の省令。

第一章 総則、第二章 教育研究上の基本組織、第三章 教員組織、第四章 教員の資格、第五章 収容定員、第六章 教育課程、第七章 卒業の要件等、第八章 校地、校舎等の施設及び設備等、第九章 事務組織等、第十章 雜則で構成されている。

【リメディアル(remedial)】

大学教育をうける前提となる基礎的な知識等についての教育をいう。補修教育とも呼ばれる。(文部科学省ホームページより)

リメディアルは「救済的」「補修的」などを意味する英語で、教育をうけるに当たって不足している基礎的学力を補うために大学入学後に行われる補修教育。欧米ではDevelopmental Educationと呼ばれることもある。数学や物理、化学など理工系学部で学ぶための基礎や、日本語読解や表現、英語などの分野でカリキュラムが組まれている場合が多い。

【セメスター制度】

1学年複数学期制の授業形態。通年制(一つの授業を1年間通して実施)の前・後期などとは異なり、一つの授業を学期(セメスター)ごとに完結させる制度。諸外国では一般的であり、個々の学期が15週程度で2学期制の伝統的セメスター制度(traditional semester system)、初期セメスター制度(一方のセメスターが若干長い:early semester system)、3学期制(trimester system)、4学期制(quarter system)などを実施する大学もある。

セメスター制は、1学期の中で少數の科目を集中的に履修し、学習効果を高めることに意義があるので、単に通年制の授業の内容を前半と後半とに分割するだけではセメスター制とは言えない。また、授業内容が過密にならないような配慮も必要である。

さらに、セメスター制には、学年開始時期が異なる大学間において円滑に転入学を実施できるというメリットもある。(文部科学省ホームページから)

【サバティカル(sabbatical)】

「研究休暇」、「安息日の」の意味で、研修休暇ともよばれる長期休暇で、欧米では広く普及している休暇制度。一般的には、ある一定期間勤務した従業員や高い成果等を上げた従業員を対象に、長期休暇を与え自己啓発、あるいは創造的な休養、リフレッシュを図つてもらう制度。企業として、従業員が大学院、あるいは研究機関等で専門性を磨くことも支援する休暇としても活用することで、従業員のキャリア創造の一端を担う仕組みである。

※サバティカル・イヤー
休暇年度、大学、教会で休養・旅行・研究のため通例7年ごとに教授・宣教師に与えられる1年間の有給休暇。サバティカル・リーパーともいうが、この場合は休暇が1学年間のこともある。
(古代ユダヤ人が7年ごとに地に安息を与えて耕作を休むことが由来) (研究社新英和辞典から)

【シラバス(syllabus)】

講義概要、講義要目などを意味することば。
年間授業計画表のこと。単位数・授業形式・方針・テスト・レポートの有無、参考文献など、全科目と授業内容について冊子にまとめたもの。



■ FDの定義について

FD(ファカルティ・デベロップメント)については平成17年1月 中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像」答申で、次のように定義されています。

「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる」

※FDに関する定義について、前述の定義では、教員の教育能力の向上及び教育技術の開発・向上を指していますが、FDを広義に捉えれば、大学教育における質的向上を図る全ての取組みについてもFDと言えます。

※ファカルティー(faculty)という言葉は、大学を構成する各教官(または教員・教師)、教員の集合である教官団、および教官団からなる教育機関、すなわち学部などの意味で使われている。ファカルティ・デベロップメント(FD)とは、従つて、大学・学部・学科やその構成員がみずからの水準を高める活動を指す(高等教育ジャーナル 高等教育と生涯学習一7(2000)より)

■ 大学設置基準等の一部改正によるFDにかかる変更点について

平成19年7月31日には教育研究上の目的の明確化、成績評価基準等の明示化、教育内容等の改善のための組織的研修等に関する大学設置基準等の一部改正が行われました。FDについては次のように改正されています。

【改正前】

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第二十五条の二 大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に努めなければならない。

【改正後】

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第二十五条の三 大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

また留意事項の「教育内容等の改善のための組織的な研修等に関する事項」で「大学設置基準第25条の3の規定によるいわゆるファカルティ・デベロップメント(FD)については、これまで努力義務であったものを義務化するものであるが、これは大学の各教員に対し義務付けるものではなく、各大学が組織的に実施することを義務付けるものであること。これを踏まえ、各大学においては、授業の内容及び方法の改善につながるような内容の伴った取組を行うことが望まれること。」と述べられています。

■文部科学省が平成19年11月27日「大学における教育内容等の改革状況について」の調査において、ファカルティ・デベロップメントの実施状況として具体例として挙げた事項は次のとおりです。

- ①新任教員のための研修会
- ②新任教員以外の教員のための研修会
- ③教員相互の授業参観
- ④教員相互による授業評価
- ⑤教育方法改善のための講演会・シンポジウム・ワークショップ等の開催
- ⑥教育方法改善のための授業検討会の開催
- ⑦教育方法改善のためのセンター等の設置
- ⑧7以外の学内組織を設けている

5 大阪商業大学



6 神戸芸術工科大学



7 大坂女子短期大学



神戸芸術工科大学におけるFDの取り組み状況

神戸 工科 大 学 術



①「教育方法改善のための講演会、シンポジウム、ワークショップ等の開催」
2004年1月に、外部講師を招いて「学生による授業評価」のテーマでセミナーを開催した。まだ比較的意識が薄かったFDについて、本学教職員のFDの意識向上に役立つセミナーとなつた。

②「教育方法改善のための授業検討会の開催」

2005年度より年2～3回程度「FD研究会」としてさまざまな勉強会を行つてはいる。過去の実施例としては、授業アンケートで学生評価の高かつた教員による授業の工夫や学生一々の把握方法に関する紹介、各学科における実習・演習・プレゼンテーションセミナー、卒業研究の取り組みの紹介、初年度教育導入教育に関する他大学の事例紹介、および意見交換など。他学科等の取り組みを参考に、教育方法改善・向上に役立ててはいる。

③「教育方法改善のためのセンターの設置」

現在は、教務委員会にてFD推進のためのセンターを設置している。

④「保護者からの意見・要望を直接聞く機会」

2005年度より年2～3回程度「FD研究会」としてさまざまな勉強会を行つてはいる。過去の実施例としては、授業アンケートで学生評価の高かつた教員による授業の工夫や学生一々の把握方法に関する紹介、各学科における実習・演習・プレゼンテーションセミナー、卒業研究の取り組みの紹介、初年度教育導入教育に関する他大学の事例紹介、および意見交換など。他学科等の取り組みを参考に、教育方法改善・向上に役立ててはいる。

⑤「学生の要望を直接聞く機会」

2006年度より、学長と学生（学生フォーラムクラブ代表者等）の懇談会を設け、カリキュラムや授業内容、施設などの要望を直接聞き、見直しに活用する取り組みを開始した。

⑥「保護者からの意見・要望を直接聞く機会」

大学祭期間中に、「大学と家庭の集い」、春には「教育懇談会」（本学および地方会場）を開催し、個別懇談を実施している。修学する上での問題や学生生活に関する相談を行い、内容によっては大

きな問題を抱える場合、教務委員会が中心になつてFD研究会を行つてまいりました。その内容は、自主参加により研究会が中心です。

進のための取り組みを行つてはいるが、FD義務化に向けて、独立した実施組織について検討している。

⑦「カリキュラムの検討」

全ての学科等で、複数年、また隔年単位でカリキュラムのあり方に関して、継続的な議論が行われている。それぞれの学科で検討された内容を教務委員会において、総合的に議論を行つてはいる。

⑧「きめ細やかな履修指導」

全ての学科において、年度はじめには、教學課と教員による履修ガイダンスを、また後期には教學課によ

る履修ガイダンスを開催している。授業科目履修に関する注意事項については、基礎・教養科目と専門科

名教員数94名の小規模な大学です。

また、それぞれの専門もアート・デザインという隣接した分野に展開して

います。しかし、これまでカリキュラム

については、基礎・教養科目と専門科

名教員数94名の小規模な大学です。

また、それぞれの専門もアート・デザ

インという隣接した分野に展開して

います。しかし、これまでカリキュラム

については、基礎・教養科目と専門科

名教員数94名の小規模な大学です。

また、それぞれの専門もアート・デ

ザインという隣接した分野に展開して

います。しかし、これまでカリキュラム

については、基礎・教養科目と専門科

名教員数94名の小規模な大学です。

また、もう一つの本学の特徴として、実習・演習に重点を置くことがあります。そこで課題となつてはいたが、初年度から卒業年度まで継続的

にモチベーションを高めていくのか、ま

たどのように講義と有機的に関づ

けるのかとということでした。この点に

してもFDの一環として有意義な議

論が行えました。

次に現状の問題点や今後の改善に

ついて述べたいと思います。これも取

組状況の③で挙げましたが、現在本

学では独立してFDを担当する組織

がありません。あくまで教務委員会

が中心であり、したがつ必ずしも全

ての教員がFDに期待されるのは、明

確な教育目標を定め、それに適した授

業内容が行わされているか自己点検

しています。

今後のFDに期待されるのは、明

確な教育目標を定め、それに適した授

業内容が行わされているか自己点検

しています。

まず本学の授業方法の特徴として、

とにかく、半期ごとに成績不振者

を対象に個別面談を行い、成績の

みなならず、生活面等においてもフォ

ローー相談ができるような体制を

大商大校友顕彰式典が開催される

平成19年11月26日(月)、平成19年度大阪商業大学校友顕彰式典が開催され、同大学を昭和42年に卒業された山下雄輔氏に表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。

山下氏は大商大を卒業後、浜本工芸株式会社を経て、当時住宅機器の卸を中心とした環境機器メーカーのダイキ株式会社に入社されました。特にダイキ(株)においては、新規事業及び海外での事業展開に携わるとともに、ホームセンター事業における拡大を推し進め、同社の経営規模の拡大に多大な力を発揮されました。

平成15年には同社の代表取締役社長に就任された後、他社との資本提携等による経営統合を進め、平成18年に「DCM Japanホールディング(株)」を設立し、同社をホームセンターグループとして国内トップに押し上げました。

式典に引き続き、同氏による「仕事と生きがい～仕事とわたし～」というテーマで記念講演が行われました。講演では同氏がどのような仕事に携わってこられたか、また仕事の中で学ばれたことなどが紹介されました。また、同社の社員に対して「チャレンジ精神」「問題意識」を持って取り組み、「現状に満足するな」と常に言ってきたことなどが披露されました。



谷岡理事長と記念撮影

神戸芸工大で鏡リュウジ氏を招き特別公開講義が開催されました

平成19年12月22日(土)、神戸芸術工科大学吉武記念ホールで、同大デザイン教育センター主催による特別公開講義が開催されました。

この講義は、香山リカ特別教授の授業「アンドーワールド心理学」の最終回として開催、特別公開講義として地域の方々にも開放され、当日は、学生・一般参加者を含め、約300名が受講しました。

講義では、学外からお招きした占星術研究家、鏡リュウジ氏の講演と同氏と香山特別教授との対談が行われ、最後に行われた質疑応答では、フロアからは占星術の「不思議」に対する質問が投げかけられました。

占星術は、中世の天動説に基づいて体系付けられたもので、太陽の軌道上を通過する12の星座の動きに基づいて説明されることは、多くの方がご存知のことと思います。また、「自分は信じない」「悪いことは忘れていいことだけ信じる」というように、占星術を含め、占いが確実に当たるものではないこともわかつてながら、その結果を信じたり、気にしたりと、多くの人々の生活に関わっているように思います。

講演では、同氏は、小学生の頃からタロット占いや占星術に興味を持ち、その後、「占いが好きな自分が嫌い」という自己矛盾を経験。その結果、占星術の根源を理解しようと、心理学の分野も含む多くの書物を読み、独学で築かれた心理学的アプローチで、占星術についての解説を行いました。

香山教授との対談では、同教授の本職でもある精神医療と占星術との類似点

や相違点、互いに人の目に見えないものを対象として取り組んでいることへの難しさ、特に、目に見えないがゆえに他人の理解を得にくいといったことなどが話し合われました。

いずれの分野でも、人の心理の底にある根源的な部分に深く関わり、作用している点では共通していることでもあり、人の気持ちの持ち方に少なからず影響を与えるものには違いないと改めて感じながらの受講となりました。

香山特別教授との対談の様子

「秋の叙勲」村上昭年神戸芸工大名誉教授が瑞宝中綬章受章

平成19年11月3日(土)、政府より秋の叙勲受章者の発表があり、村上昭年神戸芸術工科大学名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました。村上先生は、九州大学工学部を経て、平成3年4月から平成10年3月まで神戸芸術工科大学で教授として教鞭をとられ、この間、平成7年度からは同大学大学院芸術工学専攻主任を務められた後、平成10年3月に退職。同年4月に神戸芸術工科大学名誉教授の称号を授与され、引き続き平成14年3月まで非常勤講師として教鞭をとられ、同年4月から平成15年3月まで芸術工学研究所客員研究員としてご活躍されました。

神戸芸工大友定聖雄准教授が日展で特選受賞

神戸芸術工科大学造形表現学科友定聖雄准教授が、社団法人日展主催の第39回日展において、特選を受賞しました。友定准教授は、平成12年～14年、17年、18年にも同展でも入選しています。先生の作品は、全国で行われる巡回展で観賞することができます。

(巡回展日程)

名古屋 平成20年1月23日～平成20年2月17日 愛知県美術館ギャラリー
大 阪 平成20年2月23日～平成20年3月23日 大阪市立美術館

*このほかにも、3月29日から7月27日までの間に福岡、金沢、福山、福井の各都市でも開催されます。詳しくは、社団法人日展のホームページをご確認ください。



受賞作品の「WATER FALL」
板ガラスの積層の特性を最大限に活かし、現代性を表現した感性豊かな作品。

地域や社会を元気にするビジネス部門で
グランプリを受賞した麻田さん



記念講演での山下氏



基調講演での安室教授



パネルディスカッションの様子

大商大大学院 経営革新専攻開設記念シンポジウム開催

本誌29号の特集で紹介ましたが、本年4月から大阪商業大学大学院地域政策学研究科に新専攻「経営革新専攻」と地域経済政策専攻に特別教育研究コースとして「犯罪学コース」が開設されます。本誌前号では、昨年行われた「犯罪学コース」開設記念シンポジウムについて紹介しましたが、平成20年1月12日(土)には新専攻「経営革新専攻」開設記念シンポジウムが大学ユニバーシティホール蒼天において開催されました。

同シンポジウムは「これからの中国事業展開について考える—日本企業に求められる“経営革新”」をテーマに行われました。

まず、基調講演において、安室憲一兵庫県立大学教授が米国発のサブ・ライムローン危機が中国経済に及ぼす影響、中国におけるバブル経済崩壊の予兆と景気の減速に伴う中国政府の対応、さらには中国経済の減速で予測される様々な労働問題等から中国の企業経営における経営革新の必要性について分かりやすく説明されました。

基調講演に引き続き、本学の中橋國藏教授をコーディネータとして、基調講演を行った安室教授、本学の上原一慶教授、古沢昌之准教授によるパネルディスカッションが行われました。ここでは、上原教授が「変貌する中国の労働環境と労働行政」について、古沢准教授が「中国の工会と日系企業の労使関係」について各々報告するとともに、安室先生を交えた意見交換がなされました。また、雨が降る寒い中、参加いただいた会場の方々からも熱心な質問が相次ぎました。

パネリスト：安室憲一 兵庫県立大学 経営学部長・教授

上原一慶 大阪商業大学 経済学部教授

古沢昌之 大阪商業大学 総合経営学部准教授

コーディネータ：中橋國藏 大阪商業大学 総合経営学部教授



大商大U-BOXで第7回特別展示「富くじ・宝くじ・当て物展」が開催されています

現在、大阪商業大学アミューズメント産業研究所において第7回特別展示「富くじ・宝くじ・当て物展」が開催中です。同展では江戸時代の富くじや、日本のみならず、世界各国で販売されている宝くじ、駄菓子屋の当て物やキノやbingoなどといった同研究所が所蔵するコレクションが展示されています。

なお、会期中は日曜日・祝日も見学可能となっています。興味のある方は、是非足を運んでいただきたいと思います。

入場 無料 期 間：平成20年1月21日(月)～2月15日(金)
AM10:00～PM4:30(日曜・祝日開所)
場 所：大阪商業大学アミューズメント産業研究所
(学術センター U-BOX3F)

詳細は同研究所の下記アドレスにてご確認ください。

<http://ouc.daishodai.ac.jp/institute/amusement/exhibition/index.html>



大阪万博の時に発売された宝くじ

第6回 大商大ビジネスアイディア甲子園2007

平成19年12月15日(土) 大商大ビジネスアイディア甲子園2007(第6回)の表彰式が行われ、世の中を楽しくする商品やサービスなどのアイディアが対象となる「ニュービジネス部門」、地域の特徴や地場産業の活性化など社会に目を向けていたアイディアが対象となる「地域や社会を元気にするビジネス部門」からそれぞれグランプリ、準グランプリ、入賞の受賞者が発表された後、各グランプリ受賞者によるビジネスアイディアのプレゼンテーションが行われました。

今年は、両部門あわせて、北は北海道から南は沖縄まで史上最多の全国114校、4,374点の応募がありました。

各部門のグランプリと準グランプリは次の通り。

【ニュービジネス部門】
グランプリ 嶋崎恭子(兵庫県立洲本実業高校3年)
「脳活性化!?遊園地」

準グランプリ 玉田勇太(大阪市立中央高校3年)
「お年寄りに優しい熱中症対策の扇風機」

【地域や社会を元気にするビジネス部門】
グランプリ 麻田惠利(京都府立京都すばる高校3年)
「和菓子とともに、あの人のあの場所を廻るプラン」

準グランプリ 小林茉奈(横浜市立横浜商業高校3年)他2名
「大商店ビジネス甲子園」

ニュービジネス部門で
グランプリを受賞した
嶋崎さん



地域や社会を元気にするビジネス部門で
グランプリを受賞した
嶋崎さん



卒業制作展の
展示風景

大商大高校の授業での取組みを外部に発信

●「卒業制作展」

デザイン表現コース3期生による卒業制作展が、平成19年12月18日(火)から22日(土)まで、大阪商業大学「蒼天」ホワイエにて開催されました。

3年生の「演習Ⅲ」の授業で取り組んだ「商品提案」(1学期)の展示では、生徒1人にパネル1枚と机1台のスペースが割り当てられ、商品モデルとポスターなどを展示、また、「平面の絵画作品」(2学期)の展示では、各自が自由なテーマで制作した色とりどりの作品が展示されました。

デザイン表現コースの久語民雄先生は、「3年生は、1、2年生の時に先輩の卒業制作展を見て、自分たちの卒業制作では「先輩の作品を越えること」を目標にして取り組みました。それが自由な発想で楽しみながら制作に取り組み、先生方に中間審査をしてもらって作品を完成させました。生徒の努力の甲斐もあり、年々作品のレベルは上がっていると思います」と語ってくれました。

●「ポストカードブック制作」

デザイン表現コースの3期生が、「PCデザイン」の授業において「たまご」をモチーフに自由なキャラクター展開で制作した作品が、この度ポストカードブックとして丸善株式会社の全国主要店舗で販売されることになりました。同コースの学生は、これまで授業内で取組んだ作品を一般的のコンペ等に応募し、多数が入賞を果たすなど、レベルの高い作品を制作しています。

今回のポストカードブックの制作、販売についてデザイン表現コースの久語先生は、「生徒自身の作品が商品化される喜びを、生徒の満足度、達成度、モチベーションなどと直結することができる」と考えています。また、同高等学校への進学を希望する中学生、保護者、学校関係者や一般の方などに対して、本デザイン表現コースの目指す方向性を示し、私学でしかできない教育の強みをアピールしたいと思います」と語ってくれました。

ポストカードブックの表紙

●「洋楽翻訳選手権」学校応募サンクス賞受賞

平成19年11月に中学生・高校生が洋楽の歌詞を通して英語力と感性を競う「第4回 SII中学・高校洋楽選手権」(セイコーインスツル(株)〔SII〕主催)の結果が発表されました。「洋楽翻訳選手権」とは、全国の中学生・高校生を対象に、洋楽曲の歌詞を自由な発想と新鮮な感性で翻訳してもらい、その内容について審査されるもので、4回目の開催となる今回は全国から18,832通の応募がありました。

大阪商業大学高等学校は、このコンテストに毎年応募していますが、今回は3年生約220名が「オーラルコミュニケーションⅡ」の授業で1学期の課題として取り組み、担当教員の指導の下で課題曲を決めて応募しました。この結果、高等学校として学校応募サンクス賞(14位)を受賞、また、3年生の矢野博章さんが個人賞佳作を受賞されました。

大商大附属幼稚園に韓国的学生が視察に訪れました

平成19年11月28日(水)、韓国大邱市にある、大邱未来大学から幼児教育を専攻する女子学生15名と引率教員1名が大阪商業大学附属幼稚園を訪問しました。

今回の訪問目的は、関西の幼稚園を中心に、日本の幼稚園の教育内容を視察し、学生や担当教員が今後の研究の参考にするためのもので、同幼稚園に直接依頼がありました。

到着後、小田富也園長が同園の概要及び教育内容を説明した後、国久美代子先生が幼稚園内を案内しました。最初に見学した園庭では、4歳児が築山でだんご作りをしたり、池でザリガニ釣りをしたり、自由に遊んでいる様子を見て、メモや写真を撮りながら、先生方に教育内容などを質問していました。その後、園庭の園児と一緒に音楽に合わせてみんなで輪になってダンスを踊ったり、保育室では、今日あったことを話し合ったり、紙芝居や絵本を読んでもらったり、また5歳児のキャンドルサービスの練習などをしている姿を熱心に見ていました。また韓国と日本の教育内容の違いについて何度も質問していました。

滞在時間は短いものではありました、但し、同大学の学生や引率の先生並びに大商大附属幼稚園の先生方も楽しい有意義な時間を過ごしたようでした。小田園長は、「教育に携わる関係者として、今後もこの様な機会があれば、積極的に対応していかたいと思います。今後の幼稚園教育の環境や教育内容を向上していく上で、参考にしていくべきですね」と語ってくれました。



小田園長に
熱心に質問する学生



熱く語る栄監督
(右)

アテネ五輪金メダリストが大阪女子短大高校の総合的な学習「自己再発見」に来校

平成20年1月10日(木)、大阪女子短期大学高等学校グリーンホールにおいて、アテネオリンピック女子レスリング金メダリストで中京女子大学卒業生の吉田沙保里選手(綜合警備保障所属)と同大学レスリング部監督で全日本女子レスリングヘッドコーチを務める栄和人氏を招いて特別講演会が開催されました。

社会で活躍している人に人生観を語ってもらう、特に中京女子大学において世界で活躍しようとレスリングに賭けた夢や、それを実現するまで至った厳しい練習等の過程を話していただくことにより、生徒の糧となるよう企画された今回の特別講演会は系列の中京女子大学の協力を得て実現しました。なお、講演会は同校の総合的な学習の授業の一環として、1年・2年生合同の授業として行われました。

講演会はインタビュー形式で行われ、「レスリングを始めたきっかけ」、「オリンピックでの思い出」、「辛かったこと」など数々の質問について、まず吉田選手が回答し、栄監督が話を膨らませて答えるという形で進行しました。

北京オリンピックの代表に決定している吉田選手は「北京オリンピックまでにも様々な大会がありますが、すべて優勝し、無敗を続けてオリンピックでは2連覇したいと思います」と抱負を述べるとともに、会場の生徒へのメッセージで「みなさんも自分の夢や目標があると思いますが、その夢や目標をあきらめずに、いつか叶うと思いながらがんばってほしいと思います。私もロンドンオリンピックという夢を大きくもってがんばりますので、皆さんもがんばってください」と述べられました。

最後に栄監督からは「自分なりにしっかりとした意志をもって真剣に臨めば、必ず結果がついてきます。それをプラスに、新たな試練が訪れた時には乗り越えて欲しいと思います」と熱いエールが送られました。

最後はクラス毎に両名を囲んで、大変にぎやかな記念撮影となりました。



生徒の質問に答える吉田選手(左)

学生考案のメニューを学食にて販売!!

大阪女子短期大学の学生食堂「Cafeteria PASTEL」では、学生が考案したメニューを昨年11月より販売しています。これは、健康増進法で特定給食施設として定められている学生食堂においては、適切な食事を提供することが大切であるとの考えに基づき、同短大の生活科学科食物栄養専攻栄養士コースが「学生食堂における健康教育」として取り組んでいるものであり、給食管理実習、調理実習、栄養指導論他栄養士コースが修得する様々なカリキュラムの中で、栄養士の実践学習として、食堂利用者の健康づくりをより効果的に推進することを目的としています。

今回のメニュー販売は、学生自身が前期授業で考案した献立を後期授業で試作し、それを同コース担当教員の指導や食堂業者の協力を得て実現したものです。いずれもヘルシーメニューとなっていることから食堂利用者には大変好評で、1日限定60食はすぐに完売するとのこと。メニューは9種類で「野菜とお肉のあんかけうどん」「野菜たっぷりヘルシースパ」等のほか、その名もズバリ「健康どんぶり」といったものまであり、どれも栄養面はもとより、味覚、視覚の点においても十分満足できるものです。また、ヘルシーメニューの販売だけでなく、食堂内への学生自作ポスターの掲示や各テーブルに卓上栄養メモを設置するなど、食堂利用者に対して健康・栄養に関する積極的な情報提供なども行っています。

学食を通じた栄養教育について、同コースの畠田准教授と中山講師から、今後は更に地元保健所や近隣の大学・短期大学・専門学校との連携を深め、情報の共有化を図り、この取組みを継続していきたいとの考えが示されました。



各テーブルに置かれた卓上栄養メモ

編集後記

最近、雑学や教科書の内容をクイズにしたテレビ番組が増えていました。常識的なものから難問まで、昔勉強したことをどれだけ覚えているかが分かるので良く見ています。

番組内で雑学問題に次々正解するタレントさんなどを見ると、正直すごいなと思います。それも、本人も知らないことを、自分が持っている様々な知識・情報から仮説を立て、正解を導く過程に感心します。

ただ、このような番組を見ていると、これは間違えないだろうと思う常識的な問題をいつも簡単に間違えるタレントさんが多く、そのようなタレントさんの間違える様や、突拍子もないことを回答する様が大爆笑となっていますが、私は何で?と思ってしまいます。特に以前はアクションを売りにするタレントさんがもてはやされましたか、最近は常識のなさを売りにするタレントさんが増えています。ある程度演出もあるとは思いますが、常識のなさを笑いにしているものを素直に笑うことができません。これってこのようなタレントさんがこれまで受けた学校教育などの結果の表れでしょうか。

小中高の間に詰め込まれた或いは詰め込んだ知識は意外に今でも覚えているもので、頭の柔らかい間の知識の詰め込みは必要だと思っています。ただ、その詰め込み方の工夫が大切だと思います。理屈ではなく体で覚えることもあります。

■ 各設置校の主な予定

1/21(月)～2/15(金)	・富くじ・宝くじ・当て物展 [大商大]
2/ 1(金)	・講演会「時代は変わっても変わらないもの」[大商大附属幼稚園]
2/ 5(火)～7(木)	・劇の会 [中女大附属幼稚園]
2/ 7(木)	・高校入試 [至学館高]
2/ 9(土)	・高校入試 [大商大高・大阪女子短大高・大商大堺高]
2/10(日)	・高校入試 [大商大高・大商大堺高] ・わくわくマジパンセミナー [大阪女子短大]
2/12(火)	・総合経営学部 公共経営学科 第3回シンポジウム 「団碁と人間の幸せー過去の遺産を未来へ」[大商大]
2/13(水)	・園長と考える子育てサロン [大商大附属幼稚園] ・親善囲碁対局 [大商大・関西学生選抜 VS 明知大学]
2/14(木)	・高校入試 (1.5次) [大阪女子短大高]
2/15(金)	・学園創立記念日 ・企業と大学と情報交換会 [芸工大]
2/15(金)～17(日)	・芸工大卒展 (於 兵庫県立美術館、アシックスアリウム)
2/16(土)	・高校入試 (1.5次) [大商大高]
2/18(月)	・高校入試 (1.5次) [大商大堺高]
2/23(土)	・卒業式 [大商大高・大阪女子短大高] ・第27回郷土文化講演会 [大商大] ・学術講演会 [大商大大学院・比較地域研究所共催]
2/28(木)	・卒業式 [至学館高]
3/ 1(土)～2(日)	・第11回企業教育研究会 [大商大]
3/ 5(水)	・公開講座「健康であること」「発酵食品と健康」[大阪女子短大]
3/ 6(木)	・講演会「子どもの歯と栄養」[大商大附属幼稚園]
3/ 7(金)～13(木)	・大商大高校デザイン表現コース 1・2年生合同展 (於 大商大蒼天ホワイエ)
3/14(金)	・卒園式 [中女大附属幼稚園]
3/15(土)	・卒園式 [大商大附属幼稚園] ・地域子育て支援研究所 公開講座 「親子で学ぶとっさの救命急救」[大阪女子短大]
3/19(水)	・学位記授与式 [大阪女子短大]
3/20(木)	・学位記授与式 [芸工大・中女大・中女大短大部]
3/22(土)～23(日)	・全国高等学校囲碁選抜大会 [大商大後援]
3/22(土)	・オープンキャンパス [中女大]
3/25(火)	・学位記授与式 [大商大]
3/26(水)	・オープンキャンパス [大商大]

●各大学入試日程

2/16	大学院入試
大商大	前期一般入試B日程・編入・転入学試験・専攻科入試 (2次) 3/11 後期一般入試
神戸芸工大	2/10～11 大学院入試 (B日程) 3/ 8 一般入試 (後期)
大阪女子短大	3/ 3 試験選考B日程
中女大短大部	2/ 1 一般入試 I期 (B方式)・外国人特別選抜・社会人特別選抜 3/ 8 一般入試 II期
中女大	2/16 大学院入試II期 3/ 8 一般入試II期

*各行事の詳細については各校のHPにてご確認ください

大きく変わる
保険制度と健診

大阪商業大学
学校医
熨斗 有

プラトンの時代(紀元前3世紀)から、健康を保つうえで肉体と精神のバランスが重要であるといわれ、近年になってWHO(世界保健機関)が「健康とは、何事に対しても前向きの姿勢で取り組めるよう、精神および肉体、さらに社会的に適応している状態をいう」と定義しました。健康を社会的な視点からも考えるようになってきたのです。

さらに最近になって健康と生活習慣との結びつきが重視され、また医療費の抑制という観点と相俟って、平成20年4月より40歳から74歳の保険加入者を対象として、特定健診・特定保健指導が開始されます。

今まで「老人保健法」により、国が市民健診という形で健診を行ってきました。今後は保険者に健診を義務付け、医療費削減という目的で、メタボリック症候群に特化して特定健診・特定保健指導を行おうというものです。各保険者から個人へ受診券が送られ、その受診券を持って、保険者と契約している医療機関で検診を受けるというものです。できるだけ早い段階で病気をチェックして、医療費を抑えようというものです。

特定健康診査項目は次の通りです。

- 1.問診(生活習慣・行動習慣)
- 2.診察(理学的所見)
- 3.身体計測(身長・体重・腹囲・肥満度・BMI)
- 4.血圧
- 5.血液検査(中性脂肪・LDLコレステロール・HDLコレステロール・GOT・GPT・γGTP・血清クレアチニン・血清尿酸値・空腹時血糖・HbA1c)

また同時に(平成20年4月より)に75歳以上を対象とした新たな独立型の健康保険で、後期高齢者医療制度が始まります。つまり、75歳以上の方を、今までの保険制度から切り離そうというものです。

厚生労働省が予測した平成20年4月の後期高齢者医療の姿があります。対象者(被保険者)は1,300万人。医療費は11兆4,000億円。患者負担は1兆1,000億円、全国47広域連合の医療給付費など10兆3,000億円となっています。

新たな高齢者医療制度で、第二国保化といわれています。75歳以上の人に新たな負担がかかり、これも医療費の削減を目的とされています。以上の2点がこの4月より開始されます。

(参考)メタボリックシンドロームの診断基準

必須項目 内臓脂肪(腹腔内脂肪)の蓄積
ウエスト径 男性 ≥85cm
女性 ≥90cm

必須項目に加え、以下のうち2項目以上(男女ともに)

血清脂質 高トリグリセライド血症 ≥150mg/dl かつまたは
低HDLコレステロール血症 ≤40mg/dl

血圧 収縮期血圧 ≥130mmHg かつまたは
拡張期血圧 ≤85 mmHg

血糖 空腹時高血糖 ≥110mg/dl

※CTスキャナーなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。

※ウエスト径は立位・軽呼吸時、臍(へそ)レベルで測定する。

脂肪蓄積が頭著で臍が下方に偏位している場合は、肋骨下線と前上脛骨棘(両側の腰骨の突起部分)の中点の高さで測定する。

※メタボリックシンドロームと診断された場合、糖質負荷試験が薦められるが、診断には必須ではない。

※高TG血症・低HDL-C血症・高血圧・糖尿病に対する薬剤治療を受けている場合は、それぞれの項目に含める。

※糖尿病・高コレステロールの血症の存在は、メタボリックシンドロームの診断から除外されない。

本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」といいます。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名:学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問い合わせ窓口
学校法人谷岡学園 法人本部 総務課 個人情報取扱係 電話:06-6781-0384